

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 【氏名】 ◎高林 知佳子 関 睦美	【所属】 新潟県立看護大学 同上	【研究室】 304 301
【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp museki@niigata-cn.ac.jp			
【本学の科目区分】 専門分野			
【D P 1】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 2】 <input type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/>			

到達目標	地域看護領域における自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる。										
授業概要	地域看護領域の研究課題を明らかにし、研究計画を精錬し、研究計画書を作成する基礎的能力を養う。										
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：授業の到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、地域看護学に関する研究計画書 備考：高林、関</td> </tr> <tr> <td>2-10</td> <td>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画書の検討・評価 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価 備考：高林、関</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>授業内容 授業形態：演習 学修課題：研究フィールド開拓 学修内容：1. フィールドワーク 2. 関連学会への参加 備考：高林、関</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：まとめ 学修内容：研究計画書の修正、今後の課題と展望 備考：高林、関</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>授業内容 授業形態：学生によるプレゼンと討議 学修課題：研究課題に関する文献のクリティーク 学修内容：クリティークを通して自己の研究課題を洗練化・焦点化していく 備考：高林、関</td> </tr> </table>	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：授業の到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、地域看護学に関する研究計画書 備考：高林、関	2-10	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画書の検討・評価 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価 備考：高林、関	11-12	授業内容 授業形態：演習 学修課題：研究フィールド開拓 学修内容：1. フィールドワーク 2. 関連学会への参加 備考：高林、関	13-14	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：まとめ 学修内容：研究計画書の修正、今後の課題と展望 備考：高林、関	15	授業内容 授業形態：学生によるプレゼンと討議 学修課題：研究課題に関する文献のクリティーク 学修内容：クリティークを通して自己の研究課題を洗練化・焦点化していく 備考：高林、関
1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：授業の到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、地域看護学に関する研究計画書 備考：高林、関										
2-10	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画書の検討・評価 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価 備考：高林、関										
11-12	授業内容 授業形態：演習 学修課題：研究フィールド開拓 学修内容：1. フィールドワーク 2. 関連学会への参加 備考：高林、関										
13-14	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：まとめ 学修内容：研究計画書の修正、今後の課題と展望 備考：高林、関										
15	授業内容 授業形態：学生によるプレゼンと討議 学修課題：研究課題に関する文献のクリティーク 学修内容：クリティークを通して自己の研究課題を洗練化・焦点化していく 備考：高林、関										
事前・事後学習	事前学修：学修課題・学修内容について学習し資料を作成し、かつ疑問点や不明点・討議したい内容をまとめ（なお1コマ目のみ、資料作成不要）、授業日の前日まで（その授業の備考欄にある）教員すべてに提出する（メール可）。 事後学修：講義内容を振り返り各自の看護実践上の課題や关心に応じて新たな文献を精読する。										
評価方法、評価基準	到達目標に対し、プレゼンテーションと討論（30%）、研究計画書・倫理審査書類の完成度（70%）により評価する。										
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、特定のテキストは使用しない。										
参考図書・資料等	文献や参考図書等は各自探し、学びを深める。関連学会に参加し情報収集する。										
受講、課題、資料配布等のルール	・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点・討議したい内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。 ※詳細は初回開講時に説明する。										
教員からのメッセージ	忍耐強く真摯に研究課題を探求できる学びを期待します。										

オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。
---------	--